2026~2027：杉並区内

ほいくのおしごと

この街で一緒に働きませんか？



杉並で働く保育士大募集!!

先輩保育士に聞いてみた！

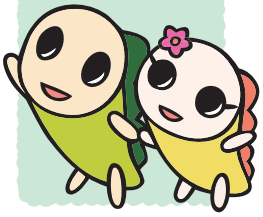

井澤先生（入職２年目）

保育士を目指したきっかけを教えてください。

松本先生：もともと妹や親戚の子どもたちの世話をする機会が多く、子どもと関わることが好きでした。本格的に保育の道を志したきっかけは、中学生の時の職場体験です。本当は保育園を希望していたのですが、別の職場に配属されてしまい、とても悔しい思いをしました。その経験をきっかけに、「保育園とはどんな場所なのだろう」と興味がさらに強くなりました。

井澤先生：幼い頃から友達の妹や年下の子どもの世話をしたり、一緒に遊んだりすることが好きでした。子どもたちの可愛らしさや、一緒に過ごす楽しさに魅力を感じていたことを覚えています。

また、子どもと関わった際にご家族から「ありがとう」と感謝の言葉をいただくことがあり、それがとても嬉しく感じられました。そうした経験を重ねるうちに、小学生の頃から自然と保育士という仕事を意識するようになりました。



杉並区で働くことを選んだ理由と、その魅力を教えてください。

井澤先生：私は杉並区で育ったため、自分が慣れ親しんだ地域で働けることに安心感がありました。また、穏やかな街並みや落ち着いた環境も魅力だと感じています。

さらに、保育士が十分に配置され、労働環境が整っている点にも魅力を感じました。保育士として働きやすい環境が用意されていることは、大きな決め手の一つでした。

松本先生：杉並区は、吉祥寺や渋谷などへのアクセスが良く、通勤や休日の過ごしやすさに魅力を感じました。また、子どもたち一人ひとりにしっかり向き合える環境が整っています。休憩時間もきちんと確保されているため、メリハリを持って働くことができる点も魅力だと思います。

仕事内容について教えてください。

井澤先生：子どもたちの安全を第一に考えながら、一緒に楽しく遊び、日々の生活を支援しています。着替えや食事などの援助のほか、保護者との連絡帳のやり取りも大切な仕事です。

松本先生：子どもたちとたくさん関わりながら一緒に遊ぶことが主な仕事です。ただ遊ぶだけではなく、安全面に気を配りながら、どうすれば子どもたちの思いや願いに寄り添えるかを考えています。そのほかにも、パソコンでの連絡帳の入力、昼食・午睡の援助など、さまざまな業務を行っています。

実際に働いてみて、学生時代にイメージしていた保育士との違いはありましたか？

松本先生：学生の頃は、「保育士の仕事は大変で、残業も多いのではないか」というイメージを持っていました。しかし実際に働いてみると、定時で業務を終えられる日も多く、子どもたちと離れて事務作業に集中する時間も確保されています。想像していたよりも働きやすい環境であることに驚きました。

井澤先生：学生時代は、子どもと遊びながら毎日がゆったりと流れていく仕事だと思っていました。しかし実際には、子どもたちから「やってみたい！」「こうしたい！」という声が次々と出てきます。その思いを大切にしながら保育を進めていくため、毎日が充実していて、気が付くとあっという間に時間が過ぎています。


アートの時間に作った作品

仕事で大変だったことや、壁にぶつかった経験はありますか？

井澤先生：一年目は、子どもたちとの信頼関係づくりに苦労しました。

そこで、何気ない会話を大切にしたり、一人ひとりに寄り添いながら関わったりすることを意識しました。子どもが興味を持っていることを事前に調べて話題にするなど、些細なことから接し方を工夫したところ「一緒に遊ぼうよ」と声をかけてくれました。そうした日々の積み重ねによって少しずつ信頼関係を築くことができ、子どもたちの表情にも変化が見られるようになりました。

松本先生：最初は日々の保育業務で分からないことも多く、思うようにいかず壁にぶつかることもありました。しかし、先輩方の仕事の進め方を見て学んだり、何度も教えてもらったりすることで、業務への理解も深まっていきました。

今では、子どもたちの成長を支えながら、自分自身も成長できることにやりがいを感じています。学べば学ぶほど保育の面白さを実感し、日々楽しく仕事に取り組んでいます。


松本先生（入職２年目）



一年目と比較して、ご自身の成長を実感したことはありますか？

松本先生：保育に対する意識や興味が、一年目の頃と比べてさらに高まりました。できることが増え、業務への理解も深まったことで、仕事をより楽しみながら取り組めるようになったと感じています。

井澤先生：自分の得意なことを活かしながら、子どもたちへの遊びの提案を積極的に行っています。提案が子どもたちに響くこともあれば、そうでないこともありますが、その時々で見られる子どもたちの反応や姿の違いを楽しめるようになり、自分自身の心にも余裕が生まれたと感じています。

保育士を目指している皆さんにメッセージをお願いします。

松本先生：保育士という仕事は、「大変そう」「簡単そう」など、さまざまなイメージを持たれることがあります。しかし実際には、それ以上に「やりがい」や「楽しさ」を日々感じられる仕事です。

仕事を心から楽しむためには、自分に合った保育園を選ぶことが大切だと思います。気になる園があれば、ぜひ見学や体験に行ってみてください。

井澤先生：保育の仕事は、一日として同じ日がありません。毎日が新しい発見と面白さであふれています。子どもたちと一緒に思いきり遊び、時には一緒に悩んだり落ち込んだりすることもあります。そんな日々の一つひとつが愛おしく、特別な時間です。

子どもの育ちを、ぜひ一緒に見守っていきましょう！



公園で見つけた草花を使った作品

保育士の『一日』って？

先輩方はどんな１日を過ごしているんだろう？

午前中は外か室内で、雨の日はランチルームで遊べるようにしています。
休憩は1時間ちゃんと取れます！
休日は自分のやりたいことをして、
思いっきり楽しんでます。



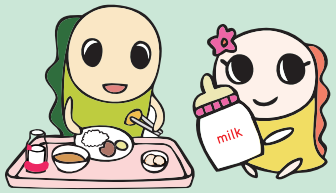
早番の日

松本先生



読書、筋トレ、ご飯 → 6:00 起床 → 7:00 出勤
朝の会 → 乳児室から移動
散歩、公園、園庭・室内遊び → 11:00 休憩 → 12:50 午睡
ジム、好きなこと、遊び → 共有、おやつ → 16:00 退勤 → 24:00 就寝

仕事から帰ったらアニメを見たり、楽器を弾いたり、ゆっくり過ごしています。
休日は友だちとカフェ巡りをして、ひたすら喋ることをしています。
学生の頃よりぐっすり眠れていて、睡眠の大切さを感じています！



遅番の日

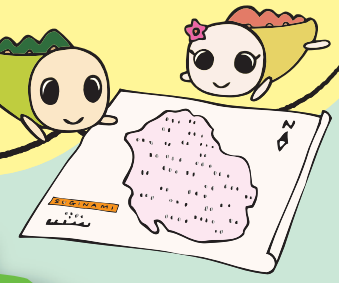
井澤先生



10:00 起床 → 11:00 出勤
連絡帳入力、そのまま配膳へ → 午睡、保育 → 14:00 休憩
共有、おやつ、保育 → 18:15 延長保育 → 保育、掃除 → 20:00 退勤
趣味でゆっくり → 24:00 就寝

杉並区ってどんなところ？

●自然が多く、個性豊かな街並みが魅力のまちです。
●特色のあるエリアに、商店街や文化イベントがたくさん!
●便利さと心地よさがそろい、多くの人に愛されています。



❶阿佐谷ジャズストリート



❷高円寺阿波おどり



❸柏の宮公園



❺杉並アニメーションミュージアム



❹永福体育館





新宿からも電車で
約 10 分程度!
都心へのアクセスが
非常に便利です♬

東京都保育人材・保育所支援センター



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター7階

TEL:03-5211-2912

保育士資格を持ち、現場経験のある
保育人材コーディネーターがあなたをサポートします!

就職応援ナビすぎなみ

https://suginami-workinfo.com/

検索 就職応援ナビすぎなみ

「保育の仕事特集」として杉並区内の事業所を中心とした私立保育園の求人情報をまとめています。

気になる求人についてのご相談は
『就労支援センター』で
https://www.city.suginami.tokyo.jp/shuroshien/



【発行】杉並区子ども家庭部保育課　☎: 03-3312-2111